

### I 第46週の発生動向 (2015/11/9~11/15)

1. 手足口病については、上十三保健所及びむつ保健所管内で**警報**が解除されました。
2. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週の155人から190人に増加しました。今後の発生動向に注意が必要です。
3. RSウイルス感染症については、患者報告数が前週の85人から68人に減少しました。

### II 第46週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
	小児科 内科															
インフルエンザ															0	
小児科	RSウイルス感染症	17	2.13	23	2.56	6	0.60	8	1.60	9	1.50	5	1.25	68	1.62	-17
	咽頭結膜熱	4	0.50	3	0.33	5	0.50	1	0.20			3	0.75	16	0.38	3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	1.25	18	2.00	21	2.10			4	0.67	6	1.50	59	1.40	2
	感染性胃腸炎	54	6.75	29	3.22	37	3.70	31	6.20	31	5.17	8	2.00	190	4.52	35
	水痘	9	1.13	5	0.56	2	0.20			2	0.33	1	0.25	19	0.45	6
	手足口病	5	0.63	6	0.67	6	0.60	10	2.00	7	1.17	5	1.25	39	0.93	-41
	伝染性紅斑			1	0.11	2	0.20							3	0.07	-3
	突発性発しん	1	0.13	4	0.44	13	1.30			4	0.67	3	0.75	25	0.60	-1
	百日咳									2	0.33			2	0.05	2
	ヘルパンギーナ	1	0.13			9	0.90							10	0.24	1
流行性耳下腺炎	15	1.88	1	0.11									16	0.38	6	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	3	1.50	1	0.33	2	1.00			1	0.50			7	0.64	3
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎					2	2.00					6	6.00	8	1.33	-2
	無菌性髄膜炎															0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0	

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

### III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症(五類全数把握疾患): 東地方+青森市1人(2015年計:3人)
- ・侵襲性インフルエンザ菌感染症(五類全数把握疾患): 弘前1人(2015年計:3人)
- ・侵襲性肺炎球菌感染症(五類全数把握疾患): 弘前1人(2015年計:17人)

### IV 病原体検出情報 ※( )内は、検査材料及び検体採取日です。

- ・上気道炎患者(咽頭ぬぐい液、10/23)・・・コクサッキーウイルスA9型、ヒトライノウイルスC: 八戸1人

## 感染症の窓

### 後天性免疫不全症候群 (五類全数把握疾患)

後天性免疫不全症候群(acquired immunodeficiency syndrome:AIDS、エイズ)は、ヒト免疫不全ウイルス



12月1日は「世界エイズデー」

(human immunodeficiency virus:HIV)感染によって生じ、適切な治療が施されないと重篤な全身性免疫不全により日和見感染症や悪性腫瘍を引き起こす状態のことで、五類全数把握疾患に分類されています。

日本ではここ数年、年間1,500人前後の新規HIV感染者及びAIDS患者が発生しており、2014年には累計で2万4千人を突破しました。青森県における2011年以降のAIDS患者報告数をみると、2人~5人の範囲で推移しており、今年は第46週時点で2人の報告があります。性別では男性がほとんどを占めていました(図)。

県内各保健所ではエイズに関する相談・検査を受け付けており、検査については匿名・無料で受けることができます。青森市保健所では即日検査、東地方保健所・弘前保健所・五所川原保健所では夜間即日検査、それ以外の保健所では2週間後に結果が分かる通常検査をそれぞれ予約制で実施しています。なお、青森市保健所ではインターネットによる検査申込みもあります。検査日、受付時間等詳細は、下記サイトをご覧ください。

『STOP AIDS』([http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/top\\_aids.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/top_aids.html))

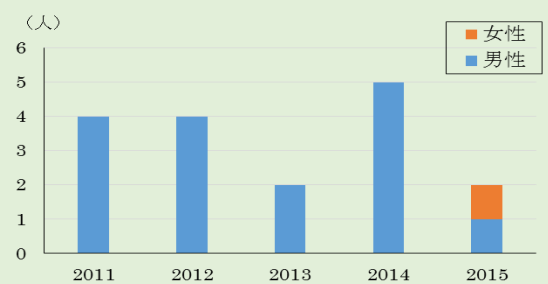


図: 後天性免疫不全症候群の報告数推移(年)  
(2011年~2015年)

※2015年は第46週時点の報告数

【参考】国立感染症研究所 HP、青森県庁 HP

### V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第36週～2015年第46週）

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
36	H27.8.31 ~ H27.9.6	アメーバ赤痢1人 カルバベネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人		アメーバ赤痢1人			
37	H27.9.7 ~ H27.9.13	腸管出血性大腸菌感染症1人 カルバベネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人					
38	H27.9.14 ~ H27.9.20	カルバベネム耐性腸内細菌科細菌感染症2人					
39	H27.9.21 ~ H27.9.27	腸管出血性大腸菌感染症1人					
40	H27.9.28 ~ H27.10.4		腸管出血性大腸菌感染症1人				
41	H27.10.5 ~ H27.10.11			梅毒1人			アメーバ赤痢1人
42	H27.10.12 ~ H27.10.18	侵襲性肺炎球菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人			
43	H27.10.19 ~ H27.10.25						
44	H27.10.26 ~ H27.11.1	アメーバ赤痢1人		クロイツフェルト・ヤコブ病1人			
45	H27.11.2 ~ H27.11.8	侵襲性肺炎球菌感染症1人					
46	H27.11.9 ~ H27.11.15	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	侵襲性インフルエンザ菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人				

### VI 結核(二類全数把握疾患) (2015年第36週～2015年第46週)

単位：人

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
36	H27.8.31 ~ H27.9.6	3	1	1		1	
37	H27.9.7 ~ H27.9.13	2	3	3		1	
38	H27.9.14 ~ H27.9.20		1		1	1	
39	H27.9.21 ~ H27.9.27	2		1			1
40	H27.9.28 ~ H27.10.4	3	2	4		1	
41	H27.10.5 ~ H27.10.11	1	1	3		1	
42	H27.10.12 ~ H27.10.18				1	1	
43	H27.10.19 ~ H27.10.25	2					
44	H27.10.26 ~ H27.11.1	1	3	1	1		1
45	H27.11.2 ~ H27.11.8	5	2				
46	H27.11.9 ~ H27.11.15						

### VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

#### 全国

(2015年第1週～第44週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類		
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキコックス症	オウム病	回腸熱	コクシジウム症	重症熱性血小板減少症候群	チングニア熱	つが虫病	テング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ポツリス症	マリア	野兔病	ライム病
累積報告数	20041	4	140	3308	31	29	157	215	13	5	3	3	54	14	95	253	189	2	4	1	39	2	8

分類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	類鼻症	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバベネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスピリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	パンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネータ菌感染症	
累積報告数	1	1347	24	911	206	1387	420	13	150	355	1167	66	195	27	1838	247	2100	95	97	50	145	29	28

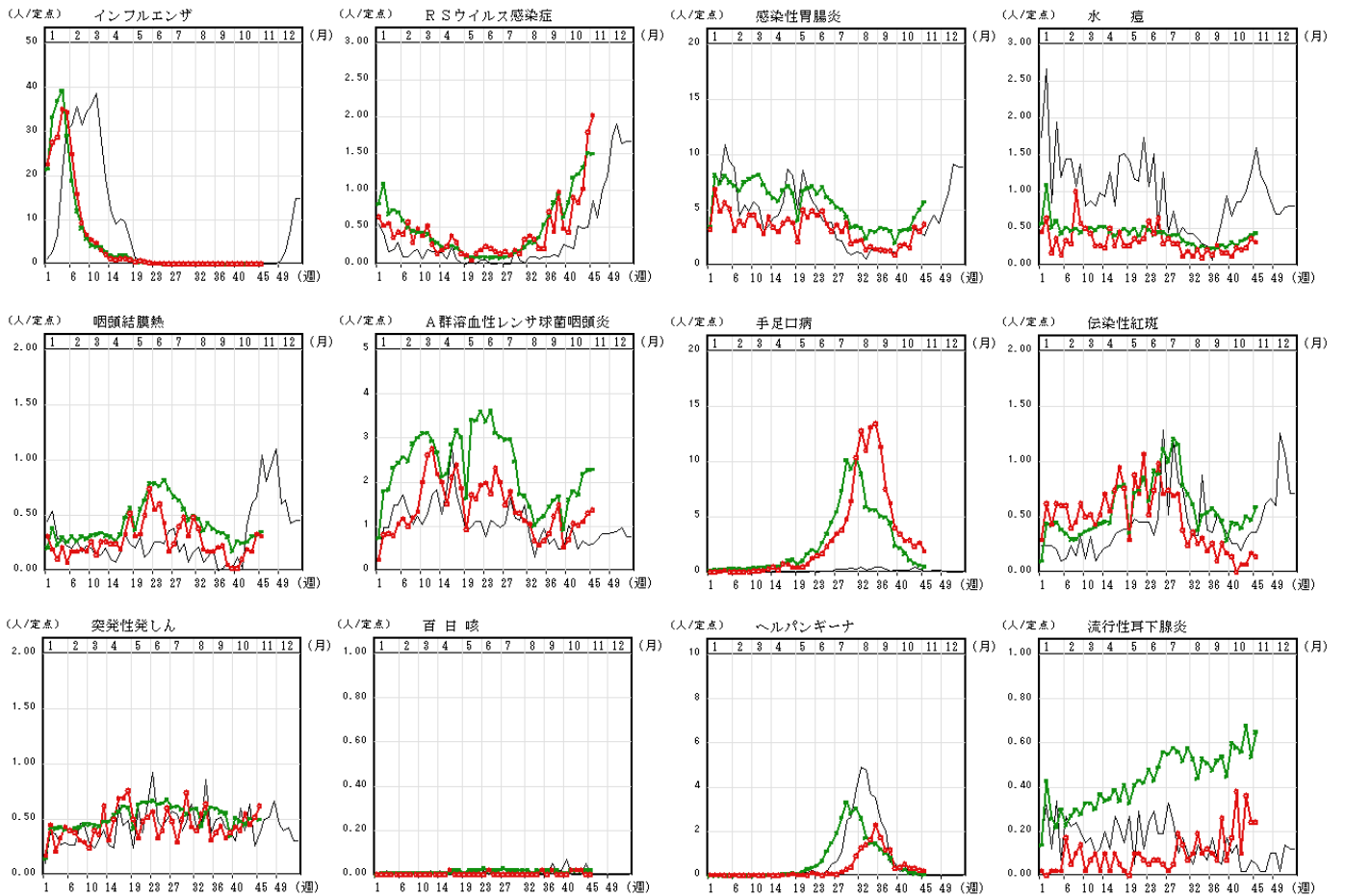
#### 青森県

(2015年第1週～第46週累計)

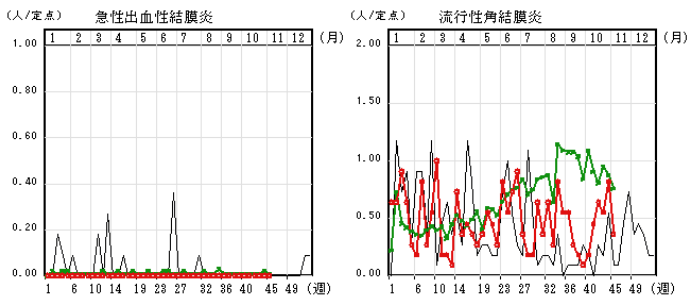
分類	二類	三類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	細菌性赤痢	つが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバベネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	破傷風					
累積報告数	258	47	1	8	2	11	1	16	2	2	3	2	3	17	2	6	1					

## VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2015年第45週)

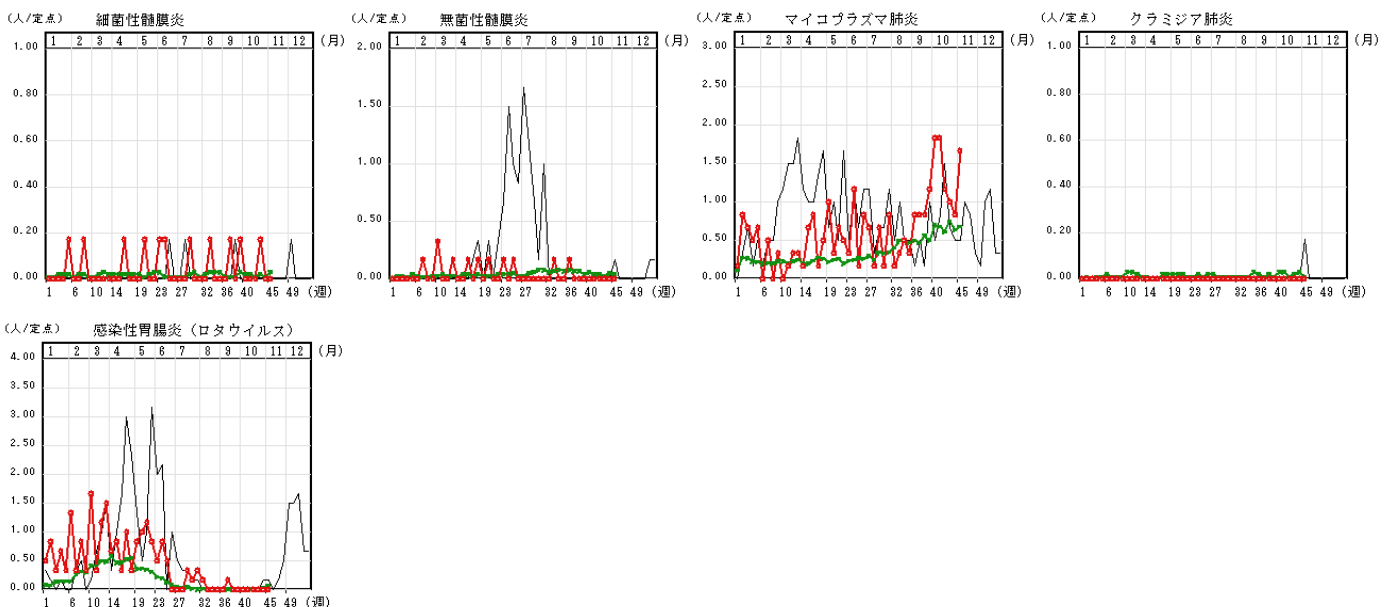
グラフの説明 ○—○は2015年青森県、——は2014年青森県、×—×は2015年全国



## IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2015年第45週)



## X 基幹定点把握疾患週別推移 (2015年第45週)



## XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第46週は報告がありませんでした。

### 平成27年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月			計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-30週	31-35週	36-39週	40-43週	44週	45週	46週	
介護・老人福祉関係施設	件数	7	5	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	15
	発症者数	107	94	47	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	275
児童・婦人関係施設等	件数	3	0	1	1	0	1	1	0	0	2	1	0	0	10
	発症者数	61	0	5	19	0	14	28	0	0	30	29	0	0	186
障害関係施設	件数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	0	10	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	26
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	10	5	3	1	2	2	1	0	0	2	1	0	0	27
	発症者数	168	94	62	19	27	30	28	0	0	30	29	0	0	487